

# 2006年12月期決算説明会資料

2007年3月8日（木）

## 2006年12月期決算の概要

執行役員管理部門副部門長  
伊豫田 直記（いよだ なおき）

## 事業環境と今後の課題および対策 2007年12月期決算の予想

代表取締役社長  
木村 良（きむら りょう）

## ご参考資料

# 2006年12月期決算の概要

- 1 . 連結損益計算書
- 2 . 連結セグメント別損益
- 3 . 連結貸借対照表
- 4 . 連結有利子負債残高の推移
- 5 . 連結キャッシュフロー
- 6 . 単体の状況について
- 7 . 配当について

# 1 . 連結損益計算書

単位：百万円

項目	06年度実績	06年度予想	06年予想対比	05年度実績	05年実績対比
売上高	92,000	90,000	2,000	95,438	3,438
営業利益	432	580	148	666	234
経常利益	311	390	79	532	221
特別損益	1,508	1,210	298	41	1,549
当期損益	1,212	980	232	290	1,502

売上高：

米穀事業 前年比 2,774 玄米販売数量の減少、販売価格は横ばい

営業利益：

米穀事業 前年比 316 厳しい値下げ要請、スケルミットの減少、木徳九州業績悪化

食品事業と鶏卵事業 前年比 90 鶏肉・鶏卵相場の下落、赤字子会社の買収

特別損益：減損損失 1,389      本社移転費用 65



## 2 . 連結セグメント別損益

単位：百万円

項目	06年度実績		05年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	92,000	432	95,438	666	3,438	234
米穀事業	76,214	1,135	78,988	1,451	2,774	316
鶏卵事業	6,730	119	7,073	134	343	15
食品事業	6,929	61	7,583	136	654	75
飼料事業	2,294	159	2,099	152	195	7
その他・消去	167	1,042	305	1,207	138	165

### 3 . 連結貸借対照表

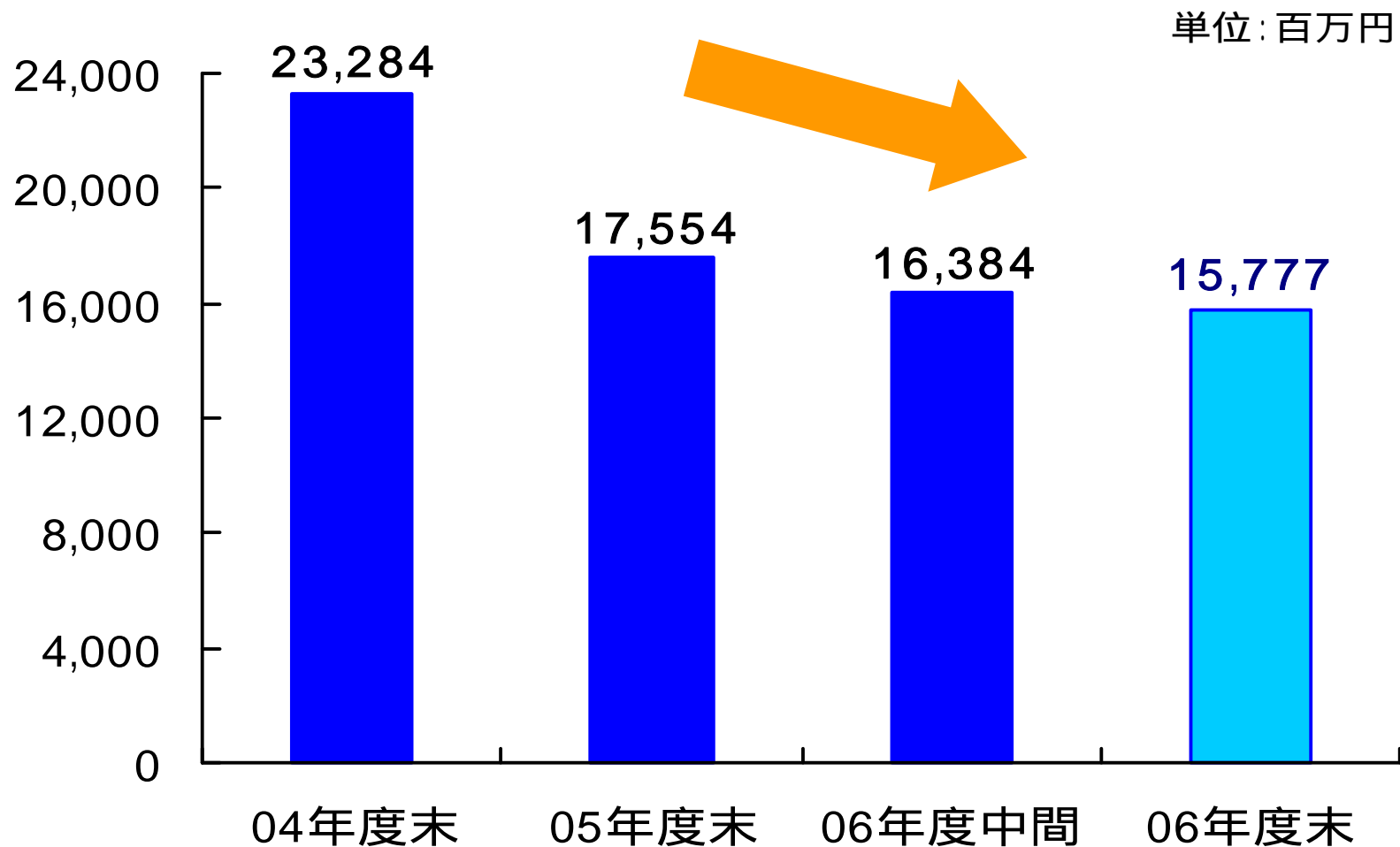
単位：百万円

資産合計	06年度実績	05年度実績	増	減
連結	25,675	30,058	4,383	

項目	06年度実績	05年度実績	注	記
流動資産	15,432	17,328	現預金 728	たな卸資産 413
固定資産	10,243	12,730	未収入金 754	売掛金 80
流動負債	15,361	17,056	減損損失 1,389	(減価償却費実施額 812)
固定負債	6,815	8,153	買掛金 1,000	
負債合計	22,176	25,209	短期借入金等 1,567	
少数株主持分	426	427	長期借入金 879	社債 290
純資産合計	3,499	4,423		

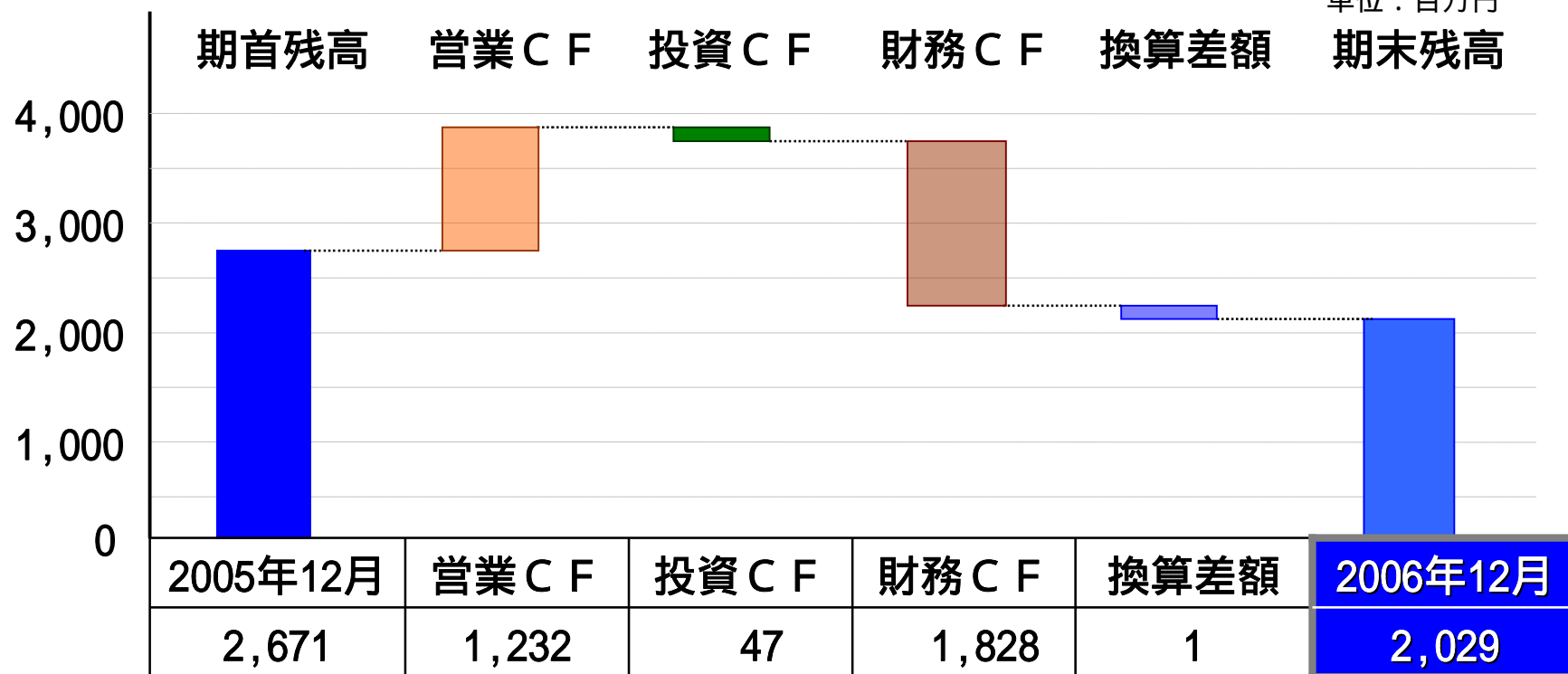
## 4 . 連結有利子負債残高の推移

### 連結期末有利子負債残高推移



# 5 . 連結キャッシュフロー

単位：百万円



営業C F：たな卸資産 425、未収入金 765

投資C F：設備投資額 516 有形固定資産売却 351 貸付金 138

財務C F：短期借入金収支 414、長期借入金収支 2,033、社債収支 661



## 6 . 単体の状況について

単位:百万円

損益の概況	06年度実績	06年度予想	06年予想対比	05年度実績	05年実績対比
売上高	68,545	67,000	1,545	71,213	2,668
営業利益	466	530	64	507	41
経常利益	332	360	28	321	11
特別損益	1,520	1,160	360	12	1,508
当期損益	1,103	800	303	218	1,321
資産等の概況	06年度実績		05年度実績		増 減
流動資産	10,030		12,067		2,037
固定資産	8,103		10,240		2,137
資産合計	18,133		22,307		4,174
流動負債	10,518		12,123		1,605
固定負債	5,157		6,507		1,350
負債合計	15,675		18,630		2,955
純資産合計	2,458		3,677		1,219
負債・純資産合計	18,133		22,307		4,174

## 6 . 単体の状況について

### 企業体質強化の成果

単位：百万円

項 目	実績	目標	注 記
在庫の適正化	2,060	2,400	原料調達の効率化
ネット有利子負債の削減	1,855	1,000	短期・長期借入金の削減 現預金を圧縮
総人件費の削減	25	60	製造部門の目標未達
一般管理費の削減 (人件費を除く)	97	20	経費使用の効率化

## 7 . 配当について

既に公表した配当方針に従い、期末配当を1株につき2円と定時株主総会に付議しております。

### < 利益配分方針について >

当社は、株主に対する利益還元の充実と安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、内部留保の充実を目指し、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。

# 事業環境と今後の課題 および対策

## 少子高齢化の進行

コメ、鶏卵、鶏肉の家庭用マーケットは減少基調  
業務用マーケットにおける競争の激化

 既存マーケットが厳しい



## ニーズの多様化

選択消費財の関連加工食品、付加価値商品の増加  
健康志向、拘りの嗜好、安全安心志向、利便性追求

 新しいチャネルの拡大

## コメに関する自由化の進展

- ・国・行政による新たな需給調整システムの導入

コメ生産調整の主役交代

➡ (国・行政から農業者・団体へ)

コメの生産に競争原理

- ・全農改革の実施による影響

➡ 相対契約の増加による仕入の安定化

- ・コメ先物市場の必要性に対する理解の広がり

➡ 仕入価格のリスクヘッジの手段になりえるか

- ・WTO農業交渉の進捗

➡ 将来輸入米の増加

1. 外部環境変化への米穀事業の対応

2. 食品事業の強化

3. グループ会社のマネジメント強化

## 外部環境変化への米穀事業の対応

- 1 . 主要取引先との関係強化  
原料やコストに関する取引先の要求に対応することによって取扱い数量の拡大を図る  
2007年12月期連結  
精米 203千トン、前年比 +7千トン  
玄米 89千トン、前年比 +9千トン
- 2 . 卸機能の充実と販売競争力の強化  
製造・販売の一体化を推進し、仕入の質の向上、提案型営業の充実による収益力の向上を図る



## 食品事業の強化

### 1 . コメ関連商品の販売拡大

コメ加工食品関連の新商品開発を積極的に推進し、グループ会社との連携を図り、新しいチャネルを開拓しつつ、販売の拡大を進めていく

2006年12月期 発売済 9 アイテム (うち低たんぱくシリーズ 6 アイテム)

2007年12月期 商品化予定 6 アイテム、開発中 6 アイテム

### 2 . 鶏卵・鶏肉事業のシナジー効果

チャネルの共用による販売量の拡大

鳥インフルエンザに対するリスク回避の継続



## グループ会社のマネジメント強化

- 1 . 事業別の子会社マネジメントの強化  
グループのマネジメント基準の統一を図り、  
子会社経営への関与を強化する
- 2 . 事業成長に適した企業集団づくり  
環境やニーズの変化に対応するための企業  
集団の形態を検討する

# 2007年12月期決算の予想

- 1 . 連結損益予想
- 2 . 連結セグメント別損益予想

# 1. 連結損益予想

単位：百万円

項 目	07年度予想	06年度実績	増 減	注 記
売上高	94,530	92,000	2,530	取扱数量の増加 精米 +7千トン、玄米 +9 千トン、無洗米は横ばい
営業利益	653	432	221	米穀数量増に伴う収益増 食品事業の回復 経費の削減
経常利益	376	311	65	
当期損益	391	1,212	1,603	子会社固定資産売却益 137百万円

## 2. 連結セグメント別損益予想

単位：百万円

項目	07年度予想		06年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	94,530	653	92,000	432	2,530	221
米穀事業	77,936	1,201	76,214	1,135	1,722	66
鶏卵事業	6,859	115	6,730	119	129	4
食品事業	7,558	178	6,929	61	629	117
飼料事業	2,230	131	2,294	159	64	28
その他・消去	53	972	167	1,042	114	70

# 2006年12月期決算説明会資料

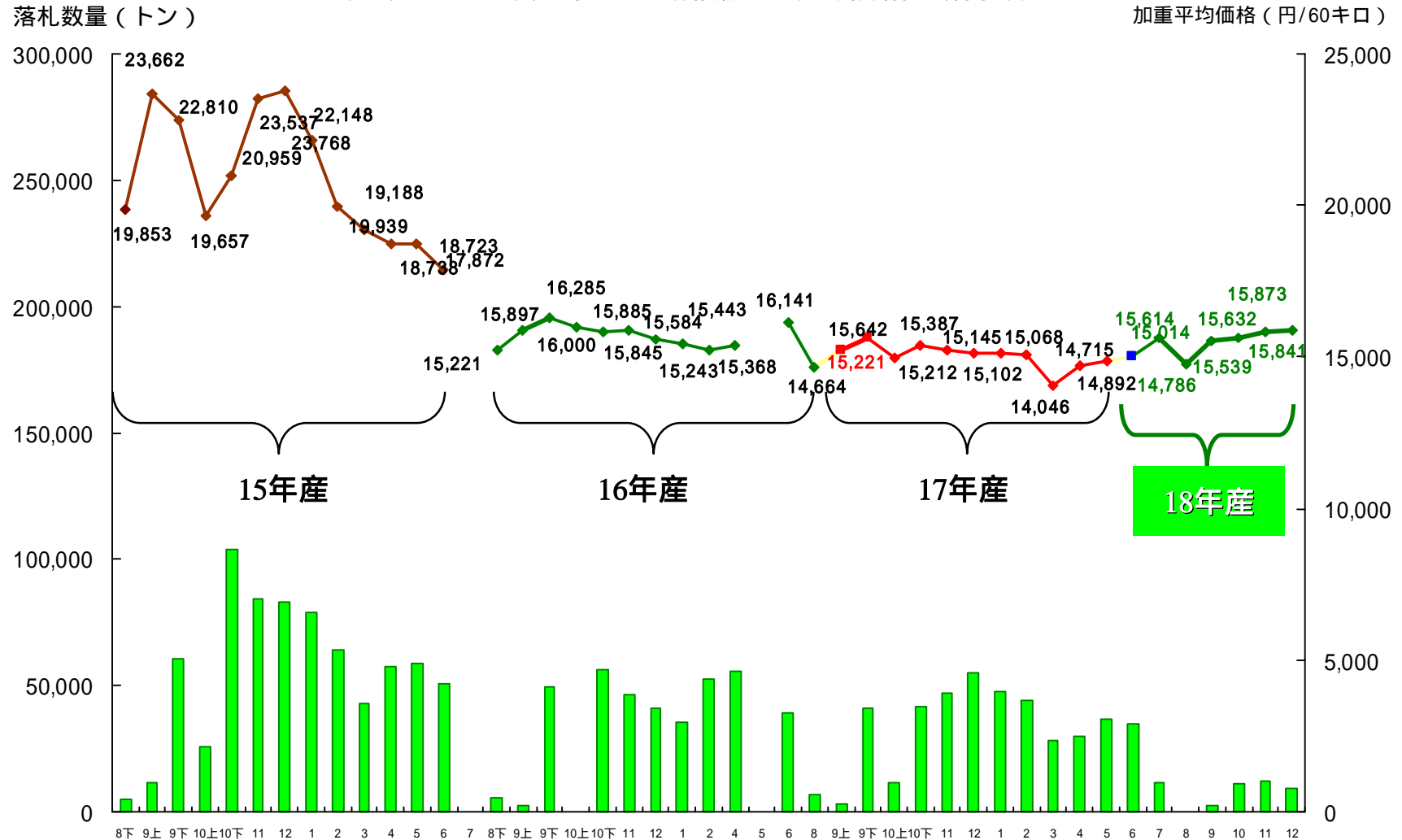
2007年3月8日（木）

# ご参考資料

- 1 . 米穀の平均価格と落札数量の推移
- 2 . 年産別米穀の平均価格と消費量の推移
- 3 . コメ加工食品の関連商品
- 4 . 当社の概要

# 1. 米穀の平均価格と落札数量

平成15～18年産米の全銘柄加重平均価格と落札数量

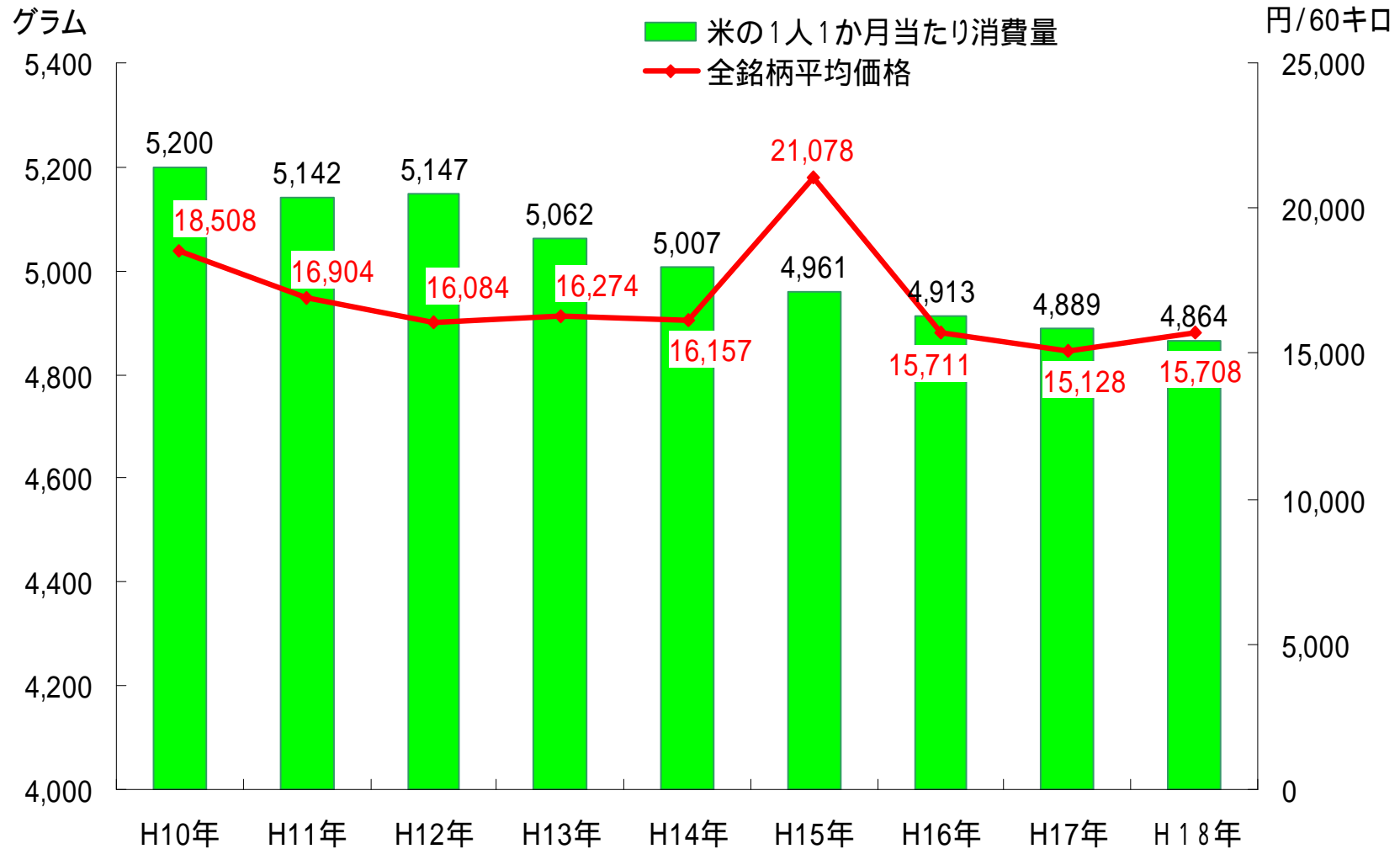


出典：コメ価格センター資料を基に当社作成





## 2. 年産別米穀の平均価格と消費量



出典：農林水産省総合食料局資料に基づき当社作成  
注記：平成18年より包装等を含んだデータとなります。



# 3 . コメ加工食品の関連商品



注目の新商品  
ギャバ&植物性乳酸菌入り

ささかみ  
新しいチャンネル向け  
子会社との共同開発



低たんぱく質「越後」シリーズ  
腎不全でたんぱく摂取制限者をターゲット



タイ香り米  
食物繊維入り無菌ごはん



## 4 . 当社の概要

会社名	木徳神糧株式会社 (KITOKU SHINRYO Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 木村 良
設立	1950年3月22日
所在地	東京都江戸川区西瑞江2 - 14 - 6
資本金	5億2,950万円
事業内容	米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工事業
従業員	連結391名、単独140名(臨時雇用者を除く)
連結子会社	(株)ライスピア、木徳九州(株)、備前食糧(株)、内外食品(株) (有)茨城内外食品、(有)共栄ファーム、(株)ジーシーフーズ、 関東内外食品事業(協)、東洋キトクフーズ(株)、キトク・アメリカ会社、 アンジメックス・キトク合弁会社、一番保険サービス(株)

平成18年12月末現在

## IRに関するお問い合わせ先

執行役員 管理部門副部門長

伊豫田 直記（いよだ なおき）

TEL : 03 -5636 -1501 FAX : 03 -5636 -1601

Email : n -iyoda@kitoku -shinryo.co.jp

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。